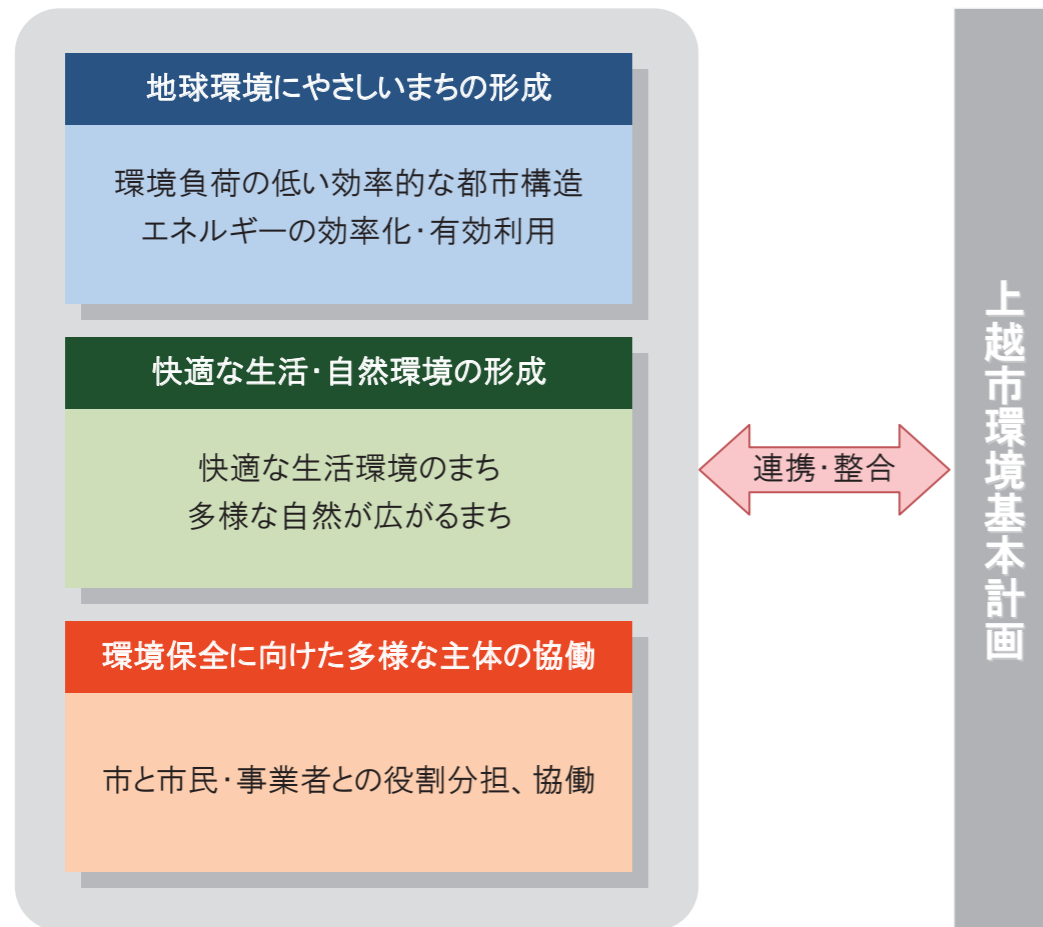


5 都市環境の方針

○地球環境にやさしいまちの形成と快適な生活・自然環境の形成の実現に向けて、多様な主体との協働により取り組みます。

環境負荷*の低減など「地球環境」への配慮に関する方針、身近な生活環境の向上と自然環境との共生・活用に向けた「生活・自然環境」に関する方針について示します。

また、環境保全に向けては多様な主体との役割分担のもと進める必要があることから、協働に向けた方針を示します。



(1) 地球環境にやさしいまちの形成に向けた方針

《基本的な考え方》

○関係機関との連携を図りながら、環境負荷*の低減やエネルギーの効率利用に配慮したまちづくりを目指します。

①環境負荷の低い都市構造

方針

- ・将来都市構造に基づき、快適で充実した都市（生活）空間を形成し、各拠点が相互に連携した持続可能な都市構造の構築を図り、環境負荷*の低い都市構造を目指します。
- ・市街地、田園地域、中山間地域それぞれの特性を活かしためりはりのある土地利用を推進するとともに、各地区の暮らしを支える拠点、効率的で利便性の高い交通ネットワークの形成を目指します。

②エネルギーの効率化・有効活用

方針

- ・雪をはじめとした自然資源のエネルギーを活用した地域活性化に取り組みます。
- ・エネルギーの効率化・有効活用に向けた省エネルギー活動や再生可能エネルギー*の普及促進を図ります。



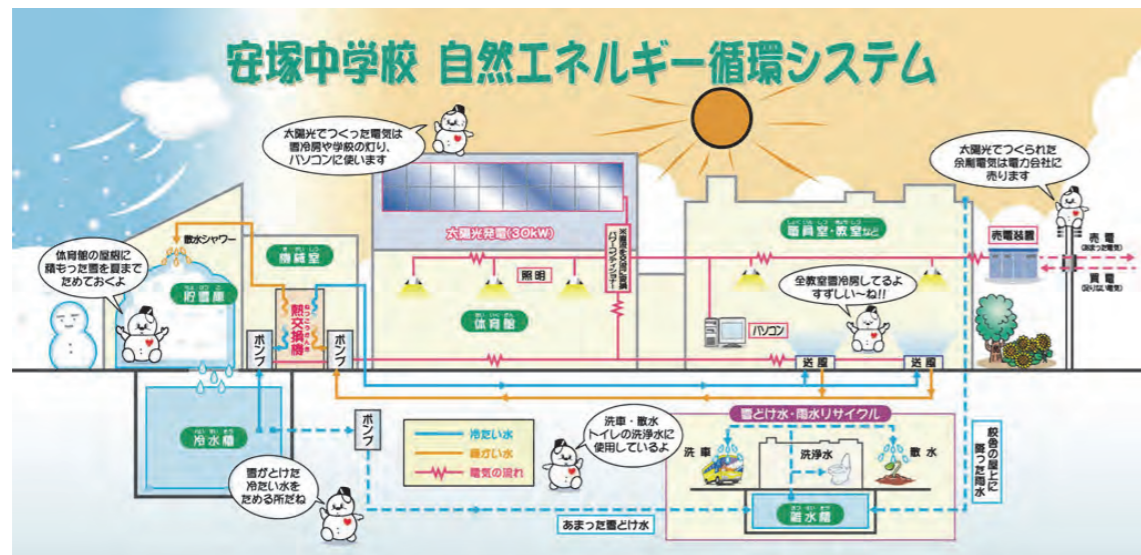
雪だるま物産館の雪室
(安塚・浦川原・大島地域)



風力発電
(名立地域)



メガソーラー
(上越西部中山間地域)



出典：公益財団法人 雪だるま財団提供

安塚中学校 自然エネルギー循環システム

(2) 快適な生活・自然環境の形成に向けた方針

《基本的な考え方》

- 快適な生活環境と、豊かな自然環境が共生するまちづくりを推進します。

1) 快適な生活環境のまち

①快適な生活環境の形成

方針

- ・快適な生活環境の形成に向けて、環境分野の施策により公害や環境汚染の防止や監視体制の充実を図ります。

②生活環境の維持・向上

方針

- ・地球にやさしいライフスタイルを支える都市環境を形成するため、ごみの分別収集の徹底や、ごみの減量化、資源物のリサイクル*運動などの市民意識の啓発などに取り組む環境分野の施策と連携し、生活環境の維持・向上を図ります。
- ・地域の風土に根差した快適な生活環境を維持するため、景観に配慮した取組を進めます。



地域の海岸清掃活動
(直江津周辺地域)



2) 多様な自然が広がるまち

① 自然環境との共生

- 方針**
- ・ 多種多様な動植物と、それらの育成・生息環境を構成する山間部、丘陵地、田園地帯、海岸部、河川・池沼などの優れた自然環境の保全を図ります。



上越市レッドデータブック
(平成 23 年作成)

② 自然環境の活用

- 方針**
- ・ 市街地・集落地内の緑化や緑地・オープンスペース*を確保し、市民の憩いの場として有効活用を図ります。
 - ・ 田園地域、中山間地域においては、市民の森など市民が環境にふれあい、自然体験や自然学習ができる施設の維持保全に努めます。



柿崎川ダム周辺の自然観察活動
(柿崎地域)

(3) 環境保全に向けた多様な主体の協働

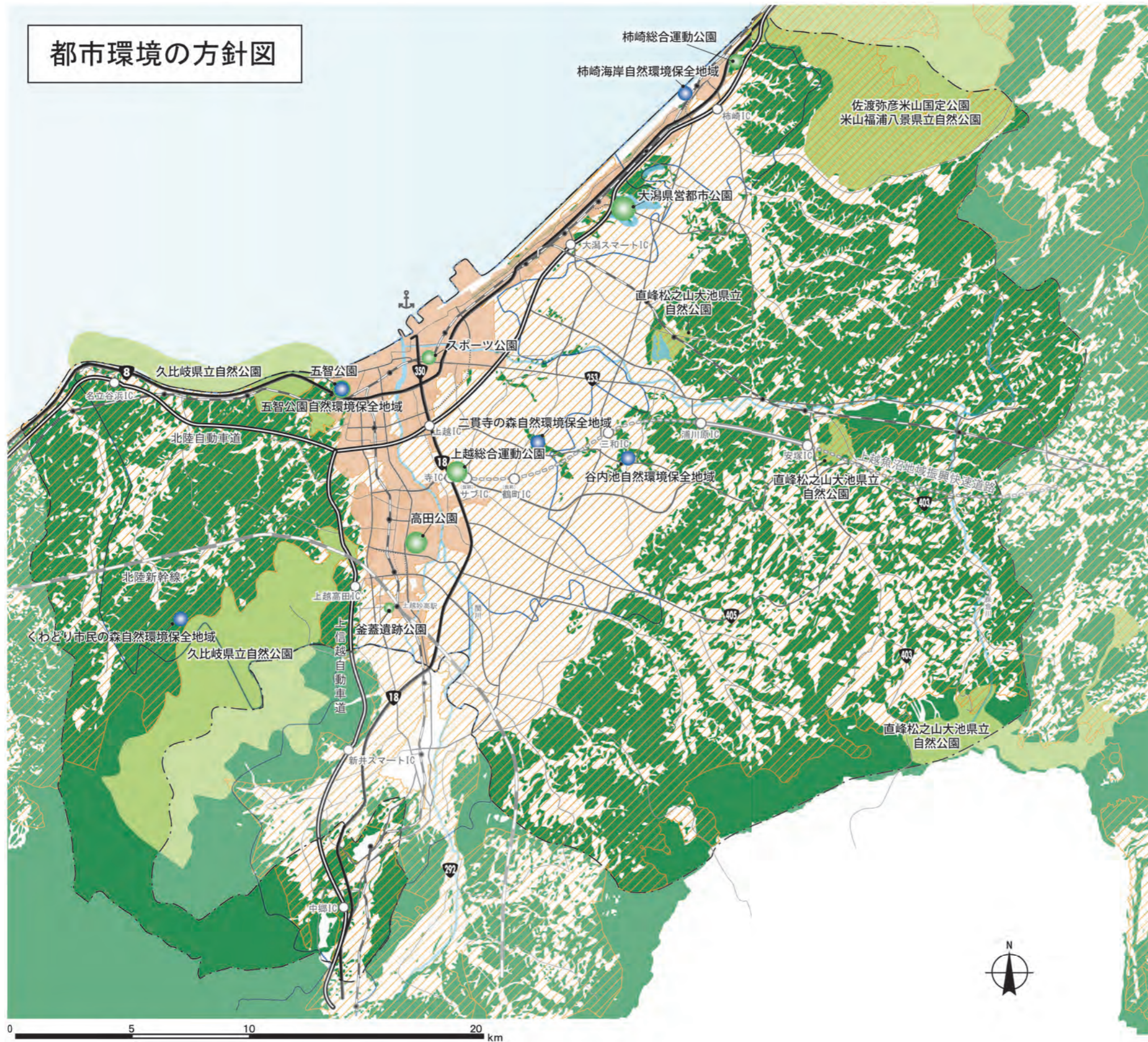
《基本的な考え方》

- 環境保全に向け、市民、事業者、市のそれぞれの役割分担の下で、協働による取組を推進します。

方針

- ・ 太陽光や木質バイオマス*のエネルギーを利用した、再生可能エネルギー*の導入などに努めます。
- ・ 市民、事業者、市がそれぞれの立場において、環境負荷低減に向けた積極的な対応に努めます。
- ・ 市民、事業者及び市が環境保全に向けて自主的、積極的に参加・行動する機会を設け、快適な都市環境づくりへの諸活動を促進します。
- ・ 市民や小・中学生が環境について学ぶための機会の充実を図ります。

都市環境の方針図



凡例

- 主な都市公園
- 自然環境保全地域
- 森林地域
- 自然公園
- 農業振興地域
- 市街地
- 都市計画区域
- 河川
- 鉄道
- 新幹線
- 高速道路
- 高規格道路
- 主要な幹線道路
- 拠点間ネットワーク
- その他の幹線道路
- 駅
- IC

道路ネットワーク

- 広域
- 拠点間地区内

※道路：実線は現状
点線は計画・構想